学校番号	3011

令和８年度　工業科（環境化学システム系）

教科	工業	科目	（学）化学工業安全	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	プリント						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学工業安全は、化学に関する安全はもとより、企業の社会へ対しての安全、責任といったことも取り上げ、社会人・企業人としての安全・責任を身に付けることを目標としています。日々起こる社会問題を取り上げながら進めていくので、社会の様子・問題に興味を持ち、より現実的で実践的な内容を身に付くようになります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　化学薬品を安全に取り扱う基礎を学び、注意すべき点の基礎力を身につける。
【思考力、判断力、表現力】
　現場での注意すべき点・危険性について自分で考え、どうすればよいか判断し、他者へ表現する能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
　社会で日々起こる事故などについて自ら意識し、安全対策について主体的に考えていく力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学物質に関する法令や性質など情報収集することができる。事故や不祥事について、調査し資料をもとに比較検討することができる。ＰＤＣＡサイクルをもとに計画し立案することができる。	作業や薬品における安全だけでなく、仕事や企業としての責任に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、創造的な能力を身に付け、人として適切に判断ができる。	課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	化学物質の性質・取扱い	・安全とは ・有機溶剤による事故事例 ・化学物質に関する情報 ・化学物質に関する法令	a:安全または危険という言葉の使われるケースに興味をもつ。有害物質や危険性物質などによって起こる災害の原因について理解しようとする。 b:有害物質、危険性物質の性質を理解し、その適切な取扱い方や管理の方法を安全の意味について考える。 c:有害物質、危険性物質の性質とその危険性を理解し、適切な取扱い方を積極的に取り組む意欲を持っている。	考査 提出物(ノート・プリント他)	考査 学習状況の観察	学習状況の観察 提出物
2学期	安全への取り組み	・安全管理 ・安全の 4M ・対策の 4E ・ハード対策とソフト対策	a: 安全管理とは何か、また、安全の 4Mと対策の 4Eなどに関心をもち、実践的な態度を理解する。 b:労働災害の基本原因と対策を思考でき、的確に表現できる。５Ｓ、ＫＹＴ、職場巡視をもとに作業環境の問題点を適切に思考し、表現する。 c:作業環境を見て、５ＳやＫＹＴを適切に考察できる。事例を取り上げながら問題点を指摘が積極的に取り組む意欲を持つ。	考査 提出物(ノート・プリント他)	考査 学習状況の観察	学習状況の観察 提出物
	品質管理	・品質管理とは ・品質管理活動の基本 ・仕事の進め方・マナー ・安全衛生活動	a:品質管理について興味をもつ。統計的な管理についての知識を増やし、理解する。 b: ばらつきを統計的に判断し、その内容を的確に表現できる。どんなときもばらつきがあることを理解し、対応策を思考する。 c:これまでの取り組みをも例に挙げ、ＰＤＣＡをもとに完全策を立案し意欲的に自ら取り組む姿勢を持つ。	考査 提出物(ノート・プリント他)	考査 学習状況の観察	学習状況の観察 提出物

3学期	企業経営	・不健全な企業経営 ・コンプライアンス ・技術の保護	a:不健全な経営している会社と健全に経営している会社の違いに興味をもつ。コンプライアンス違反の企業の問題点に興味をもつ。知的財産の種類と重要性に興味をもつ。知的財産に興味をもつ。 b: なぜ倒産や経営破綻したか思考できる。コンプライアンス違反しているか判断できる。どういった特許が使われているか考えることができる。 c:製品の特徴について特許をもとに比較検討することができる。 d:なぜ倒産や経営破綻とはどういうことか理解する。コンプライアンスについて理解する。 特許権以外に意匠権、商標権、著作権について理解する。	考査提出物（ノート・プリント他）	考査 学習状況の観察	学習状況の観察 提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度